

令和 7 年度

事 業 計 画 書

一般財団法人 熊本県消防協会

I 事業の目的

熊本県及び県内市町村、消防本部等関係機関との連携のもと、県民に対する防火防災意識の普及啓発をはじめとして、消防団員等の消防技術の向上や消防団活動の強化及び消防団員（職員）の活性化支援等を通して、地域住民の安全で安心な暮らしの推進に寄与することを目的とする。

II 事業の内容

令和7年度においては、次の事業等を実施する。

◆ 法人の管理

【法人会計】(経常費用) 予算額：5, 529, 684円

1 法人の管理・運営事務

(1) 熊本県消防協会主催会議等の開催

熊本県消防協会の適正な運営を行うため、定款等に基づき、次の会議等を開催する。

① 理事会	令和7年 4月25日（金）	
	令和7年 5月22日（木）	
	令和8年 3月中旬	
② 評議員会	令和7年 4月18日（金）	書面開催
	令和7年 5月28日（水）	慰靈祭後
③ 幹部理事会	令和7年 4月25日（金）	以降適宜
④ 監事監査	令和7年 5月上旬	
⑤ 消防団長、消防協会支部長・市町村消防担当課長・消防本部総務課長会議	令和7年 5月22日（木）	理事会後

※協会役員等の任期満了前辞任に伴う選任手続き

①地区からの推薦	令和7年 4月11日（金）	締切
②評議員会での役員等選任	令和7年 4月18日（金）	書面決議
③理事会での幹部理事選任	令和7年 4月25日（金）	

(2) 日本消防協会等主催会議への出席

日本消防協会等が開催する次の会議に出席する。

- | | |
|-------------------------------------|---------------|
| ① 日本消防協会定時評議員会 | 令和7年 6月20日（木） |
| ② 消防協会九州ブロック協議会
九州各県消防協会長会議（沖縄県） | 令和7年 7月17日（木） |
| ③ 都道府県消防協会事務局長会議 | 令和8年 2月27日（金） |
| ④ 日本消防協会定時理事会・評議員会、全日本消防人共済会総代会 | 令和8年 3月 6日（金） |
| ⑤ 日本消防協会定例表彰式 | 令和8年 3月 6日（金） |

◆ **活性化支援事業**

【継続事業1】（経常費用）予算額：9,015,537円

1 防火防災思想の普及啓発

県民に対し防火防災の普及啓発を行うとともに、消防団に対する理解促進と消防団活動への積極的な参加を呼びかけるため、次の事業を実施する。

(1) 熊本県消防協会事業

- ① 防火・防災に関するポスター図案・作文コンクール作品募集
 - ・家族ぐるみの消防防災意識の高揚を図るため、小中学生を対象に募集
 - ・幹部理事会において優秀作品を選考し表彰
 - ・優秀作品は、全日本消防人共済会の防火ポスター図案、防火・防災作文コンクールに推薦
- ② 火災予防等広報ポスターの作成・配付
- ③ 防火ちらしの作成・配付
 - ・ポスター図案の優秀作品を基にして作成

(2) 日本消防協会事業の活用

- ① 防火ポスターの配付
- ② 防火・防災に関する作文コンクール入賞作品集の配付

③ 防炎品普及啓発ポスターの配付

2 表彰

県内市町村及び消防本部から推薦のあった消防団及び消防団員・消防職員について、熊本県消防協会の表彰基準並びに日本消防協会の表彰基準に基づき、表彰を行う。

なお、日本消防協会の表彰については、幹部理事会において審査を行い、表彰（上申者）を決定する。

(1) 熊本県消防協会長定例表彰

申請：令和7年 7月

① 消防団表彰 特別表彰まとい、竿頭綬

② 消防団員・職員表彰 功績章、勤績章、感謝状

※ ①については、団長等会議で表彰

②については、12月末～翌年1月に配布

(2) 日本消防協会表彰

申請：令和7年 7月

第77回日本消防協会定例表彰式（令和8年3月6日（金））

① 消防団表彰 特別表彰まとい、表彰旗、竿頭綬

② 消防団員・職員表彰 功績章、精績章、勤続章

③ 優良女性消防隊表彰 表彰旗

④ 優良女性消防隊員表彰

* 3月開催の「表彰式」以降に表彰状等を配布

3 消防殉職者慰靈祭等

(1) 熊本県消防殉職者慰靈祭の開催

明治以降今日までの本県の殉職消防団員・消防職員の功績を称え、その遺徳を偲ぶため、熊本県護国神社において、「熊本県消防殉職者慰靈祭」を開催する。なお、同神社には殉職者85柱が合祀されており、境内に「熊本県消防殉職者慰靈碑」が建立されている。

*期日：令和7年 5月28日（水）

(2) 第43回全国消防殉職者慰靈祭への参列

全国の消防殉職団員・消防職員・消防協力者の功績を称え、その遺徳を偲ぶため、日本消防協会の主催により「全国消防殉職者慰靈祭」が開催される。

本県からは、遺族の代表及び消防協会長等が参列する。

*期日：令和7年 9月11日（木）ニッショーホール

◆ 活性化支援事業

【継続事業2】（経常費用）予算額：9,074,994円

4 情報の提供・収集（年間を通じて実施）

県民の消防防災意識の向上と防火防災思想の普及促進、並びに消防団や消防団活動に対する県民の理解を深めていただくため、定期刊行物やホームページ等により、広く情報提供を行う。

（1）熊本県消防協会

- ① ホームページによる情報提供及び収集 <http://wwwffa-kumamoto.org/>
※「消防団応援動画・写真コンテスト」を開催し、消防団とともにSNSで情報を積極的に発信する。

（2）日本消防協会事業の活用

- ① 機関誌「日本消防」への寄稿及び配付
- ② ラジオ放送「おはよう！ニッポン全国消防団」への出演
- ③ 季刊紙（年4回）「いきいき消防」への寄稿及び配布

5 消防団員の確保・育成対策

地域防災力の向上を図るため、県内消防団員の消防技術の向上や消防団活動の強化及び団員の確保、士気の高揚等に資するための事業を実施する。

（1）熊本県消防協会主催事業

- ① 第8回熊本県女性消防操法大会

令和7年9月7日（日）

八代市環境センター「エコエイト」駐車場

D-1級軽可搬ポンプ操法

- ② 消防団員の指導者養成（消防団員指導員科研修）

令和6年12月6日（土）～7日（日）

* (45市町村消防団のうち希望者)

③ 女性消防団員確保対策事業

ア 女性消防団員代表者会議

令和7年9月予定

④ 消防団活性化事業

ア 消防団 PR 動画・写真コンテストの審査

⑤ 消防団協力事業所表示証交付助成

(随時)

⑥ 消防団員加入促進事業

* (手続: 6月以降募集、翌2月申請期限及び助成決定)

(2) 日本消防協会事業等への参加

① 第26回全国女性消防操法大会

(神奈川県横浜市 赤レンガ倉庫イベント広場)

令和7年10月28日(火)

② 第30回全国女性消防団員活性化長崎大会(長崎県長崎市)

令和7年11月13日(木)

③ 第52回消防団幹部特別研修(1人)

令和8年2月13日(火)～16日(金)

④ 第25回消防団幹部候補中央特別研修【男性の部】(3人)

令和8年1月28日(水)～30日(金)

⑤ 第25回消防団幹部候補中央特別研修【女性の部】(2人)

令和8年2月18日(水)～20日(金)

◆共済事業

【共済事業】(経常費用) 予算額：5, 545, 367円

1 福利厚生（年間）

（1）熊本県消防協会事業（隨時）

① 災害見舞

- ア 会員で公務出動中に自宅が類焼等の被害を受けた者に対して見舞金を贈る。
- イ 会員で公務のために負傷し若しくは障害の状態となった者に対して見舞金を贈る。
- ウ 会員で公務のために死亡した者の遺族に対して弔慰金を贈る。

② 育英事業

会員で公務のために死亡又は障害の状態となった者の子弟に対して、日本消防協会の消防育英事業関連行事への参加等を支援する。

③ 厚生事業

- ア 日本消防協会からの助成金による健康増進事業の実施
 - ・熊本県消防協会支部事業並びにスポーツ行事に対する助成
 - * (希望する市町村へ助成)
 - ・健康管理や体力鍛成に役立つ健康器具・体力鍛成器具の配布
 - * (45市町村のうち15市町村へ配布 (3年に1回ルール))
- イ 消防団員・職員に対する礼服の貸出

（2）日本消防協会事業の推進

① 福祉共済事業

- ア 掛金納付、給付手続き
 - * (年額掛金3,000円、加入の対象：消防団員、消防職員 等)
 - * (共済事業の他に、健康増進事業、福祉増進事業等を実施)
- イ 福祉共済への加入促進
 - * (「消防団員等福祉共済のしおり」等を使い、説明を隨時実施)

② 火災共済事業

- ア 加入申込み、共済金支給手続き
 - * (火災共済は、B型共済（消防団加入）、C型共済（個人加入）)
 - * (掛金：B型共済：5口500円～、C型共済：1口100円～)

- * (例年7月「防火ポスター」、「防火・防災に関する作文」の募集)
- イ 火災共済への加入促進
 - * (「消防人の火災共済」等を使い、説明を随時実施)

③ 消防個人年金事業の加入促進

- ア 加入申込み、支払い手続き
 - * (公的年金の補完制度、消防団員・消防職員の退団・退職後も継続)
 - * (掛金：月払、半年払、月払・半年払の併用払からの選択)
- イ 消防個人事業への加入促進
 - * (パンフレット「消防個人年金」等を使い、説明を随時実施)

④ 女性防火クラブ員等福祉共済事業（旧：婦人消防隊員等福祉共済事業）

- * (対象：女性防火クラブ員等)

⑤ 福祉共済事業等車両交付事業

- * 消防団防災学習災害活動車 (ワンボックス 8人乗り) 23台
(軽バン 4人乗り) 24台
- * (交付手続は、例年7月募集、11月交付決定、翌2月車両交付)

⑥ 消防育英事業

- * (対象の1名に奨学金交付)

◆駐車場賃貸事業

【駐車場賃貸事業】 (経常費用) 予算額：3,540,348円

1 駐車場賃貸事業（収益事業）

熊本市九品寺の旧消防会館の跡地を月極有料駐車場として一般に賃貸（30台分）し、収益事業を行う。

消防学校への事務所移転に伴い、令和6年8月から駐車場管理業務を民間に委託。